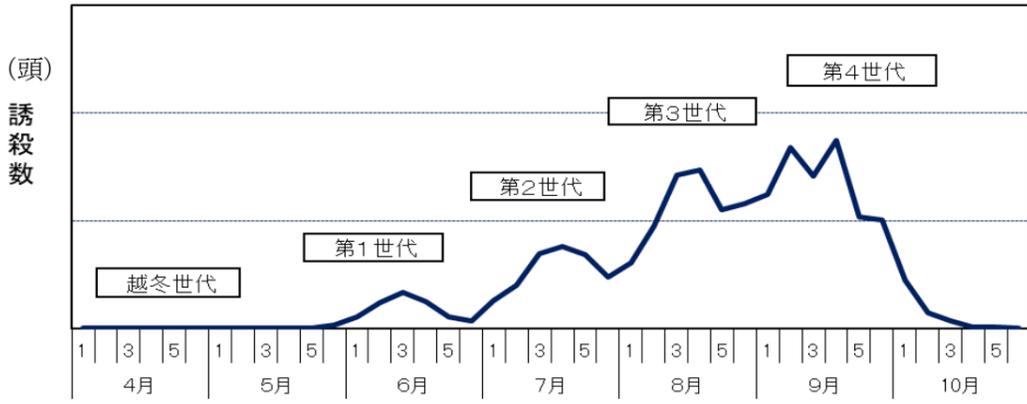


キンモンホソガのフェロモントラップ誘殺消長（令和7年（2025年）調査）

病害虫防除部

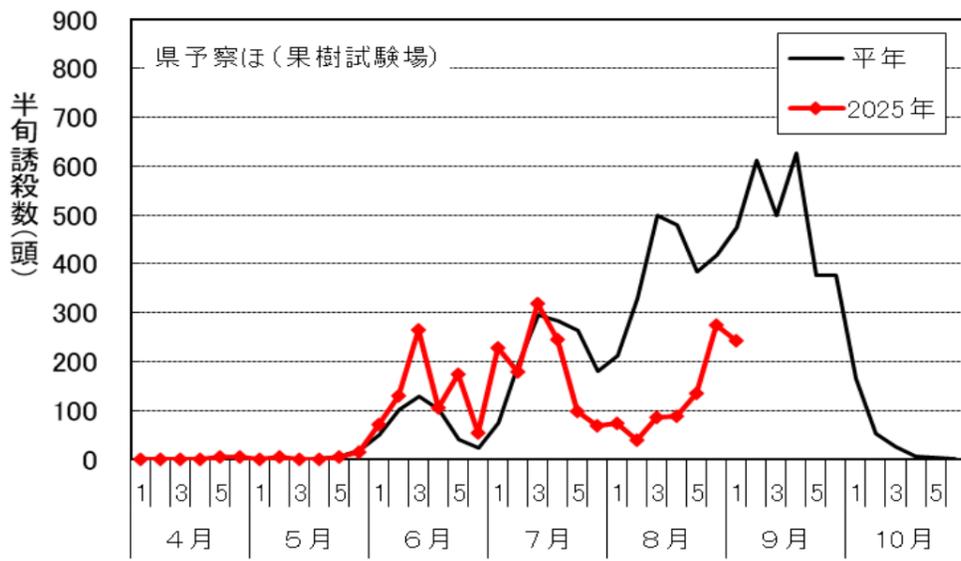
過去10年間の消長模式図（果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年4～5回発生する。
- ・越冬世代成虫は4月中旬頃、第1世代成虫は5月下旬～6月中旬、第2世代成虫は7月上旬中、第3世代成虫は8月上旬～下旬、第4世代成虫は9月以降に発生する。
- ・第3世代成虫以降は発生が重なり合い、世代の区切りがはっきりしない。
- ・第2、3世代成虫の発生初期にあたる7月上旬、8月上旬が重要な防除時期である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



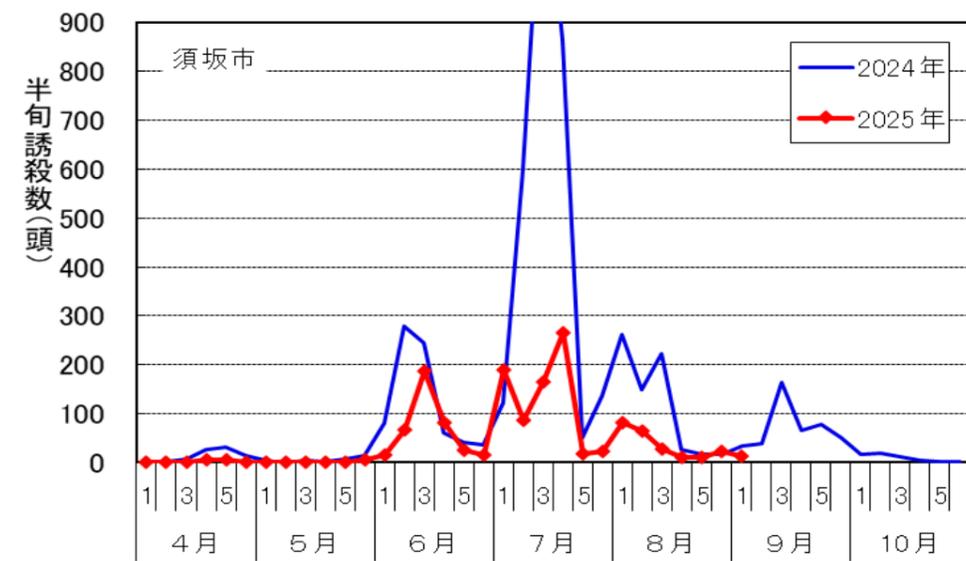
【調査地点】（標高約350m）

- ・須坂市（果樹試験場りんごほ場）
- ・平年は2015年～2024年の平均値

【コメント】

- ・世代の交代にともなって誘殺がなくなることがあまりない虫種であるが、本年の第2と第3世代間の誘殺数の減少は比較的大きく、誘殺数が少ない期間も長かった。
- ・8月第5半旬以降誘殺数の増加率が大きくなったが、誘殺数は平年より少なく、ピークは後ろにずれている。

○須坂市（病害虫防除部調査）



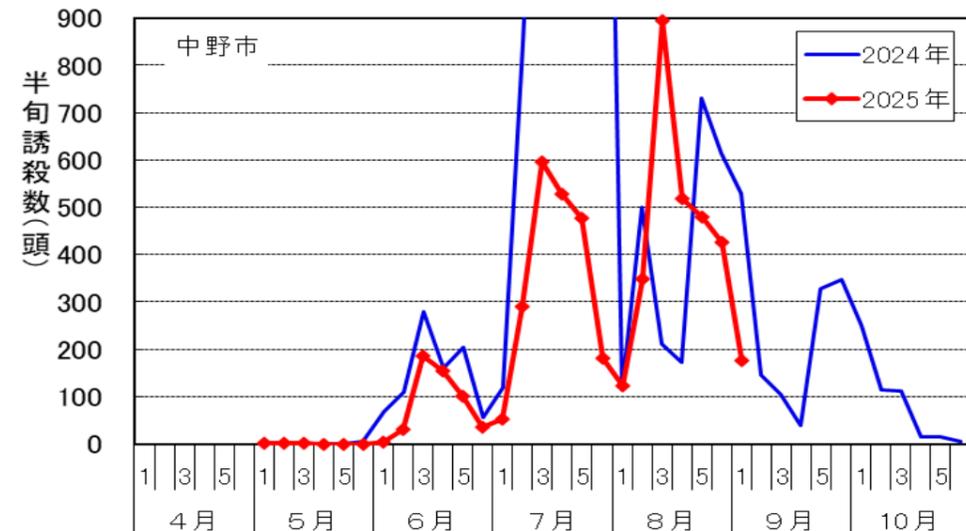
【調査地点】（標高約370m）

- ・須坂市（現地りんごほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・8月前半の第3世代成虫の誘殺数は昨年より少ない。
- ・その後の誘殺数は、10頭前後の少ない状態が9月第1半旬まで続いている。

○中野市（病害虫発生予察ほ）



【調査地点】（標高約450m）

- ・中野市（りんごほ場）
- ・2023年には場変更したため、平年値なし。

【コメント】

- ・昨年の第3世代成虫の誘殺は8月下旬であったが、本年は8月中旬であった。
- ・第1、第2世代成虫の誘殺は昨年より少なかったが、8月第3半旬に迎えた第3世代のピーク時の誘殺数は昨年より多かった。その後は減少が続いている。